

横浜国立大学都市科学部について

都市科学部は、横浜国立大学の50年ぶりの新学部として2017年4月に開設されました。

「リスク共生学」と「都市をフィールドとした教育研究」という本学の強みを活かし、都市の構想と設計のために人文社会科学領域・自然科学領域を再構成した学部です。都市科学部は、以下の4つの学科で構成されています。

都市社会共生学科は、人文学・社会科学の視座から国内外の都市社会・都市文化の理解と社会的・文化的価値の創造・発展のためにダイバーシティの視点も含め取り組みます。建築学科は、建築構造・都市計画・建築史・建築意匠などの領域を牽引します。都市基盤学科は、都市の施設計画・設計・運用・維持とそれらにかかる課題解決に取り組みます。環境リスク共生学科は、環境学・生態学・リスク学・地球システム論など理学・自然科学の領域より自然環境、社会環境を対象としてリスクとの共生に取り組みます。

このように都市科学部は、都市を担う人間と支える文化、社会、歴史、構造に加え、都市域外の自然や環境、農村社会も広く対象としています。都市を人びとの行為と記憶の歴史的な集合体として深く大きく捉え、そこで生きる人々の経験知、実践知、ジェンダーによる差異なども分析視覚に含め、知を統合した総合知をもって複眼的な視点から、今世紀の「都市的世界」を担う人材の育成を目指しています。

都市科学部長・教授 藤掛洋子